

創造から新天新地へー24 章でたどる神の救済史

4 章 「イスラエル民族の始まり」

出エジプト記 12 章

1. はじめに

(1) 1 章では「世界の始まり」を取り上げた。

①天地創造の目的は、神の国の臣民を造り出すことにあった。

(2) 2 章では「人類の堕落と救い主の約束」を取り上げた。

①悪魔は、悪魔の国を作ろうとしている。

②神は、救い主の約束を与えた。

(3) 3 章では「アブラハムの選び」を取り上げた。

①罪が個人から家庭へ、社会へ、文明へと広がった。

②救済史は、一人の人の選びから始まった。

③歴史の記述法が変化した。

\* 普遍史（全人類の堕落史）

\* 救済史（選ばれた系譜の歴史）

④約束の受け手（民）と「舞台」（地）が定められた。

2. 4 章の内容

(1) 4 章では「イスラエル民族の始まり」を取り上げる。

①ヤコブの一家はエジプトに下る。

②これは裁きであると同時に祝福でもある。

\* カナン人の文化との同化

\* 民族形成のための保護と増殖

③旧約神学の「懲らしめ＝救いの手段」が明確になる。

④ヤコブの子孫たちはエジプトで一大民族となり、そこを脱出する。

(2) 旧約最大の救いの出来事は、イエスの十字架を指し示している。

出エジプトの出来事は、イエスの十字架を指し示している。

出エジプト記 12 章にある 4 つの型を発見すればそれが分かる。

I. 過越の子羊 — メシアの子型

1. 出 12：5

**Exo 12:5** あなたがたの羊は、傷のない一歳の雄でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。

(1) 傷のない子羊

- ①無垢な犠牲
- ②イエスは罪のない方（1 ペテ 1：19）

(2) 子羊の直接的予表

- ①「神の子羊」キリスト（ヨハ 1：29）

## 2. 出 12：3

**Exo 12:3** イスラエルの全会衆に次のように告げよ。／この月の十日に、それぞれが一族ごとに羊を、すなわち家ごとに羊を用意しなさい。

(1) 家族ごとに犠牲が適用される。

- ①個人的信仰の応答が必要。
- ②行いではなく「血」による救いを示す。

## 3. 出 12：46

**Exo 12:46** これは一つの家の中で食べなければならない。あなたは家の外にその肉の一切れでも持ち出してはならない。また、その骨を折ってはならない。

(1) 骨を折ってはならない

- ①規定（出 12：46）→ メシア預言（詩 34：20）→ 成就（ヨハ 19：33）

## II. 子羊の血 — 救いの方法

### 1. 出 12：13

**Exo 12:13** その血は、あなたがたがいる家の上で、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたのところを過ぎ越す。わたしがエジプトの地を打つとき、滅ぼす者のわざわいは、あなたがたには起こらない。

(1) 血に救いの力があるのではなく、信仰に力がある。

- ①血は家の外側に塗られる。
- ②見えるしるしとしての信仰告白である。

(2) 神は、血を塗った者の上を過ぎ越す。

- ①救いとは「神の怒り」からの解放である。
- ②イエスは怒りを身に受けてくださった（イザ 53：5）。

Isa 53:5 しかし、彼は私たちの背きのために刺され、／私たちの咎のために碎かれたのだ。／彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、／その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

### Ⅲ. 食べられる子羊 — いのちの共有

#### 1. 出 12：8

**Exo 12:8** そして、その夜、その肉を食べる。それを火で焼いて、種なしパンと苦菜を添えて食べなければならない。

(1) 焼いた子羊を食する命令。

①キリストのいのちを取り込むことの象徴

②ヨハ 6：53～54

Joh 6:53 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。

Joh 6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。

③救いは単なる免罪ではなく、新しい命の授与である。

#### 2. 急いで食する（種なしパン）

(1) 救いは「出発」であり、歩みの始まりでもある。

①パン種＝罪を除去して歩む聖別の原理（1 コリ 5：7～8）

②十字架は「罪赦される起点」であり、「聖さへ向かう出発」。

(2) 記念として繰り返す。

①過越→聖餐式へ継承（ルカ 22：19～20）

### Ⅳ. エジプトからの脱出 — 救いの結果

#### 1. 支配の領域が変わる。

(1) エジプト＝罪・サタンの支配

①神の民として歩む生活が開始

②救いは「罪からの解放」＋「神の民としての新しい身分」

(2) 祝福の富を携え出る。

①出 12：36

**Exo 12:36** 【主】はエジプトがこの民に好意を持つようにされたので、エジプト人は彼らの求めを聞き入れた。こうして彼らはエジプトからはぎ取った。

②アブラハム契約成就の証拠（創 15：14）

## 2. 異邦人も信仰により同行

(1) 出 12 : 38

**Exo 12:38** さらに、入り混じって来た多くの異国人と、羊や牛などおびただしい数の家畜も、彼らとともに上った。

①割礼＝信仰のしるし

②救いの普遍性の初期形態（ロマ 4 章）

## 結論：今日の信者への適用

### 1. 確信

(1) 子羊の血の下にある確信

(2) 私たちは、神の怒りから完全に解放されている。

(3) 救いの確信は、自己評価ではなくキリストの血によって与えられる。

### 2. 行動

(1) 出発した者として生きる。

(2) 出エジプトは「新しい歩みの開始」を象徴している。

(3) 信者は罪の支配下に留まる必要はない（ロマ 6 章）。

(4) 種なしパンの生活＝罪を持ち込まない歩み、継続的なへりくだり。

### 3. 自覚

(1) 神の民としてのアイデンティティを自覚する。

(2) 信仰と恵みによって「所有者」が変わった。

(3) サタンの権威の下にいたのではなく、「神の所有」（1 ペテ 2 : 9）である。

(4) 自分は「誰に属する者なのか？」を常に確認する。

### 4. 使命

(1) 異邦人も信仰によって同行した（出 12 : 38）。

(2) 神は今も全世界を祝福しようとしておられる。

(3) 選びは、他者を祝福するための召命である。

(4) 神の国建設の物語を生きる人は幸いである。